

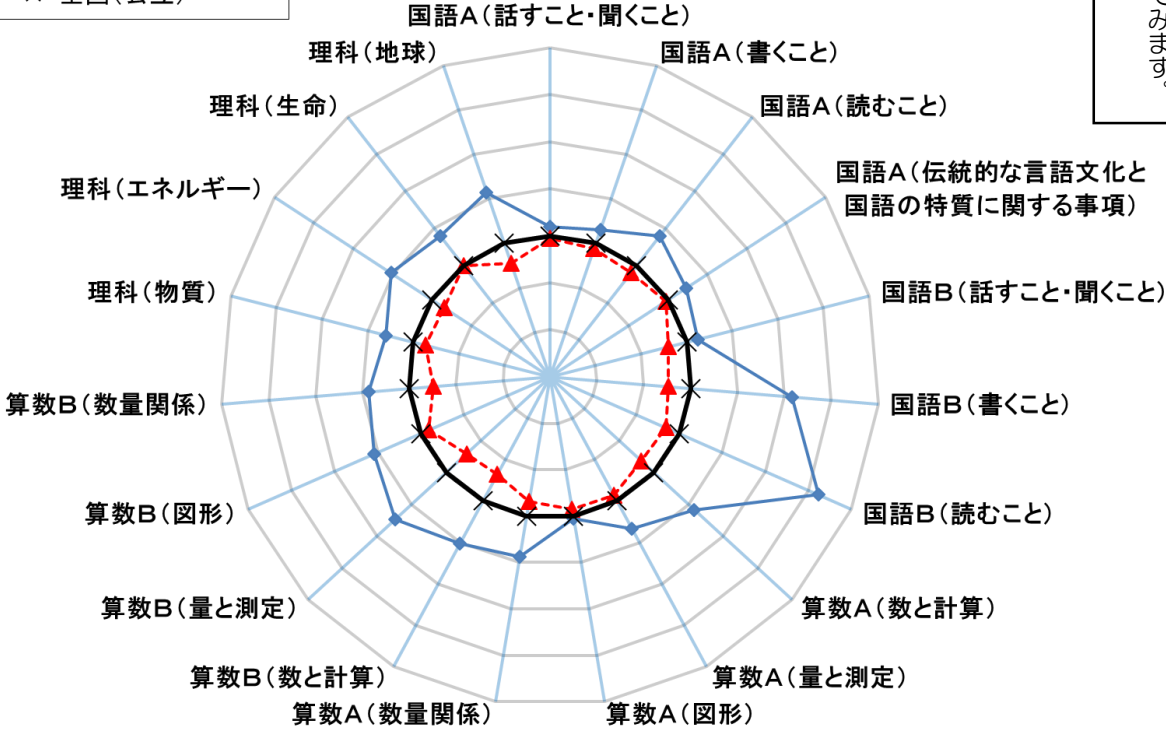
平成30年度 全国学力・学習状況調査の結果を受けて

学力について

(全国平均正答率を100とした時の比較)

- ◆ 帯広市立柏小学校
- ▲ 北海道(公立)
- ✕ 全国(公立)

リーダーチャートで柏小と全国・全道を比較してみます。



<p>国語A〈主として知識〉</p> <p>○「読むこと」「書くこと」の領域において昨年度より改善が見られ、全ての領域で全国平均正答率を上回っています。</p> <p>●敬語では、尊敬語と謙譲語の使い分け方など指導方法や習熟に力を入れていきます。</p>	<p>国語B〈主として活用〉</p> <p>○「読むこと」「書くこと」「話すこと・聞くこと」の全ての領域で全国・全道の平均正答率を上回りました。</p> <p>●要約経験や字数を意識して書く練習に今後も取り組みます。粘り強く考え、書く習慣を育成します。</p>
<p>算数A〈主として知識〉</p> <p>○どの領域においても、全国平均正答率より上回っています。</p> <p>●小数のわり算・割合・百分率の学習に若干のつまずきが見られました。少人数指導や習熟度別学習での重点項目におき、指導をしていきます。</p>	<p>算数B〈主として活用〉</p> <p>○昨年度まで課題とされていた「量と測定」の領域が改善され、どの領域においても、全国平均正答率より上回っています。</p> <p>●複数の資料からどれを選ぶか、そのためには問題を読み取る力が必要ですので、他教科でも意識的に指導する必要があります。</p>
<p>理 科</p> <p>○「物質」「エネルギー」「生命」「地球」の全ての領域において、全国平均正答率より上回っています。</p> <p>●実験結果をもとに分析して記述したり、実験を組み立てたりする力を付けるために、授業での重点化を図ります。</p>	

学習状況について

全国・全道と比べると・・・



- 社会貢献意識が高く、人の役に立ちたいと思う児童が多いです。
- ボランティア活動に参加する児童の割合が高いのも本校の特徴です。
- 自尊感情が高まり、物事をやり遂げたあとの充実感を感じています。
- 家で学校の授業の予習・復習をしている児童の割合が高いです。
- 毎日、同じ時刻に寝る・起きると答えた児童が少なく、生活リズムが一定していません。
- 自分のよさを感じている一方で、将来の夢や目標をもっている児童が少ない傾向にあります。



学校では・・・

そこで

①基礎・基本の確実な定着

- ・朝学習や家庭学習で、漢字や計算の反復練習
- ・放課後学習の場
(柏っ子教室・すくさぼ)

②わかる授業づくり

- ・1時間の課題とまとめが明確な授業
- ・少人数指導や習熟度別指導など複数の教師による個に応じた授業

③学習規律や学習習慣の定着

- ・柏スタンダード(学習のきまり)の更なる徹底と話の聞き方を指導
- ・家庭学習の取組奨励とあたたかい評価(児童への励まし)

生活リズムを整え

家庭での学習時間を確保

家庭では・・・



①机に向かう時間の確保

- ・「10分間×学年+宿題」を目標に!
- ・時間帯を決めて毎日継続
(保護者の声かけが大切)

②テレビやゲームの時間を決める

- ・自分の生活を振り返り、視聴時間を再確認(生活リズムシートの活用)
- ・テレビやゲームの時間を減らして、家庭学習や読書の時間に
(ストップ・ザ・見放題、家読)

③心がふれあう時間の確保

- ・1日一回は学校の話をするなど、子どもの気持ちに寄り添う時間を
- ・子どものがんばりやよいところを認め、ほめる
- ・地域の行事に積極的に参加

学校と家庭の連携で学力UP! ~机に向かう習慣を~